

三原精機 株式会社

トーションバー生産でニッチ
トップ、世界シェア10%納期
相談
コスト
相談
メイン
ジャパン
試作可
小ロット

トーションバーの説明

主な事業内容

パワーステアリングのトーションバー製造、
多品種小ロットの切削加工部品の製造

主な取引先(納入先)

自動車部品メーカー

主な製品

トーションバー、切削加工部品

業務
内容

量産をメインに多品種
小ロットの生産も展開

三原精機は、自動車のパワーステアリングの構成部品であるトーションバーの製造が、主力事業。車の3要素(走る・曲がる・止まる)のうち、「曲がる」にかかわる重要な部分を担っている。三原真一社長の祖父・一憲氏が大阪府柏原市で、軸受部品製造の三原鉄工所として創業。以来、顧客ニーズに応じて設備を移管・拡充し、工作機械部品や自動車部品の製造へと業容を広げてきた。現在はトーションバーの量産製造に加え、多品種小ロットの生産部門も構えており、建設機械や工作機械などの部品の切削加工も手がけている。創業60余年に及ぶノウハウの蓄積が、高い品質を支えている。

強み
新鋭の高性能設備保有
迅速加工・低コスト化

新鋭の高性能設備を多数保有し、加工の迅速化とともに、低コスト化も実現している。トーションバーはばね鋼が素材で、切削から転造、熱処理、研磨に至る一貫体制を敷き、月産80万―85万本(自動車80万―85万台分)を製造。国内大手メーカーに採用されている。

社長あいさつ



代表取締役社長
三原 真一さん

高い技術力を保有・維持しながら量産製造に臨むように心がけています。多品種小ロット品の切削加工で技術を磨き、それを量産にフィードバックすることで相乗効果が得られると考えています。多品種小ロットの生産部門は試作品の加工など、自動車部品以外の取引も増えてきており、今後も新しい分野の開拓に力を注ぎます。

主な保有設備

- 自動旋盤(バーフィーダー付)
トーションバーで月間100万本の
生産能力 スター精密製 35台
- センタレス研磨機 トーションバーで月間100
万本の生産能力 日進機械製作所製 30台
- 転造盤(オートローダー付)
トーションバーで月間100万本の
生産能力 ツガミ製 8台
- NC旋盤(最小補正值1μm) オークマ製 12台
- 立型マシニングセンタ
機械精度 平面度3μm、真円度1.65μm
ファナック製、オークマ製 3台

大阪
03

ISO 9001

住 所 / 〒582-0023
柏原市
国分東条町4327-2
TEL / 072-977-8200
FAX / 072-977-8251
創 業 / 昭和28年4月
設 立 / 昭和59年4月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 53名

品質
維持
主要取引先から実績を
評価され「品質優秀賞」

乗用車の全世界の新車販売台数が年間約9,000万台であるのに対し、同社は同約900万本のトーションバーを生産。約10%の世界シェアを持つグローバルニッチトップ企業だ。量を迅速にこなすだけでなく、品質管理面でも高い実績がある。平成30年度には主要取引先のジェイテクトから、工程を標準化した品質を維持する取り組みが評価され「品質優秀賞」を受賞。

一方、量産のみでは段取り替えばかりで技術が育ちにくい。技術力向上や人材育成の場として、多品種小ロットの切削加工を活用している。切削加工の受注を積極的に取り込むことで技術を鍛錬し、技術の継承にも努めている。



ジェイテクトの「品質優秀賞」を受賞(平成30年度)



多品種小ロット部品



<http://www.mihara-seiki.com/>